

山陰の中高生ロケ参加

真庭市
で撮影
初々しい演技で本番



スタッフ(左から2人目)から演技指導を受ける
エキストラの中学生ら 26日、岡山県真庭市内

映画
『遙かな町へ』

倉吉ノスタルジー

倉吉市を舞台にした映画『遙かな町へ』のオーディションで、エキストラに選ばれた鳥取、島根両県の中高生の男女59人が、26日から始まった岡山県真庭市の国指定重要文化財「旧遷喬尋常小」でのロケに参加した。生徒らは憧れの舞台で初々しい演技を披露し、主要キャストを引き立てた。

59人は5月に倉吉市内で実施されたオーディションに参加した面々で、全員が作中で主人公・博史が通う倉吉北中の生徒役として登場する。

同校舎での撮影初日、真庭市の最高気温は34・1度

と厳しい暑さ。生徒らはスツップに汗を拭ってもらいながら、助監督から場面設定や動き方の指示を受けるなど入念にリハーサル。博史役の及川桃利さんや博史のマドンナ・智子役の磯谷萌々子さんから主要キャストと、クラス分け発表シーンや登校シーンの撮影の本番に挑んだ。

「と湯梨浜学園中3年の清山蒼希羽さん(14)はやる気十分。八頭高1年の中野雪乃さん(15)は「鳥取が舞台の作品に出られて誇らしい」と胸を張った。

同校舎でのロケは、29日まで行われる。(井田慎一)

シーブルームの3人も 主人公の同級生役に全力



主人公の同級生役を演じるシーブルームのYokaさん、Rinoaさん(右から)、Rinoaさん(左) 26日、岡山県真庭市内

参加しているのは、Rinoaさん、Yokaさん、Rinoaさんの3人。全員がオーディションで主人公・博史の同級生役には選ばれた。

参加していない他のメンバーに「頑張って」と背中を押されたYokaさんは、「自然体で演技したい」とこっぴどく。Rinoaさんは「場面ごとの雰囲気は伝えられるよう頑張る」と意気込んだ。

Rinoaさんは「鳥取県内で注目されている作品。観賞した人がシーブルームにも関心を示してくれば」と、グループ活動の飛躍につなげたいと誓った。(井田慎一)

26日から始まった映画『遙かな町へ』の岡山県真庭市内でのロケに、日本海新聞がプロデュースするアイドルグループ「SEA

BLOOM(シーブルーム)のメンバーも参加した。それぞれの夢に向かい、与えられた役を全うしようと全力で取り組んでいる。